

若手研究者コラムリレー



小椋 優作 (おぐら ゆうさく)



プロフィール

中部学院大学短期大学部 幼児教育学科 講師
日本体育・スポーツ・健康学会の専門領域:測定評価／発育発達
E-mail: ogura-yusaku@chubu-gu.ac.jp

【出身】岐阜県中津川市
【学歴】2014年3月 岐阜大学教育学部保健体育講座 卒業
2016年3月 岐阜大学大学院教育学研究科保健体育領域 修了
2021年3月 愛知工業大学大学院経営情報科学研究科博士後期課程 修了
【職歴】2014年度 岐阜大学教育学部附属中学校 非常勤講師(保健体育)
2016年度 岐阜県内公立小学校教諭
2017年度より現職
【スポーツ歴】水泳(競泳)／バスケットボール／剣道／柔道



前期打ち上げ
ゼミBBQ
(筆者は中央)



運動遊び指導時の様子

わたしの研究

発育発達の過程に着目した 健やかに生きる力を育む研究



私がこの研究テーマに興味をもった背景には、指導教官の存在があります。発育発達の視点から子どもの身体や運動を捉える研究に取り組む姿勢に加え、子どもの育ちに真摯に向き合うその熱い思いに触れたことが、大きなきっかけとなりました。こうした考え方方に共感し、私自身も、体力や運動能力を結果だけで評価するのではなく、「どのような過程をたどって育っていくのか」に目を向ける研究を行うようになりました。

これまで私は、幼児期から児童期にかけての縦断データを用いて、身長や運動能力の発育発達過程を明らかにする研究を行ってきました。特に、一時点の運動能力水準を単純に比較検討するのではなく、その子なりの成長の過程や、集団内での位置づけ、さらにはその変化に着目する視点を重視してきました。

一方で、こうした研究を進めるなかで、体力や運動能力の発育発達は、家庭や保育・教育環境、日常の運動との関わり方といった成育環境の影響を強く受けていることを、あらためて実感するようになりました。また、運動への関わりは、身体的健康のみならず、子どもの意欲や自己肯定感といった精神的な側面、さらには他者との関わりや参加のあり方といった社会的な側面とも密接に関係していると考えています。

今後は、これまでに積み重ねてきた体力・運動能力の縦断的研究を基盤としながら、家庭や保育・教育環境、運動との関わり方にも目を向け、身体的・精神的・社会的な健康がどのように相互に関係しながら育まれていくのかを、発育発達の視点から複合的に捉える縦断的研究に取り組んでいきたいと考えています。こうした研究を通して、子どもが健やかに生きる力を育んでいく過程を明らかにしていくことが、私の目指す研究の方向性です。

わたしの渾身の論文・書籍・記事



- 小椋優作 ほか(2020) 幼児期における運動能力の相対的位置の変化が小学6年時の能力特性に及ぼす影響—縦断的運動能力データに基づいて—. スポーツ健康科学研究, 42: 39-47.
- 小椋優作 ほか(2016) 幼児の自由遊び時に発する言葉の量的特性と運動能力との関連—5歳男児を対象として—. スポーツ科学研究, 38: 35-42.

アクティブ・チャイルド・プログラム (JSPO-ACP) の紹介



最近はありがたいことに、学内業務に加え、学外での指導者(保育者・教員)向け研修会講師や、子どもへの運動指導に関わる機会が増えてきました。そうした活動の中で、取り組んでいる内容が、日本スポーツ協会が推進するアクティブ・チャイルド・プログラム(JSPO-ACP)です。このプログラムは、“子どもが色々な運動遊びを通して、楽しく、積極的に体を動かすることで、健やかな心と体を育むこと”を目的としています。興味のある方は、ぜひ一度のぞいてみてください。
[アクティブ・チャイルド・プログラム\(JSPO-ACP\)の公式HP](#)

プライベートも充実させたい・・・！

普段は仕事に追われがちですが、休みの日にはできるだけ子どもと一緒に外で過ごす時間を大切にしています。公園で遊んだり、プールや山登りに出かけたりと、特別なことではありませんが、体を動かしながら過ごす時間は、親子にとって良いリフレッシュになっています。また、時間が合えばスポーツ観戦に出かけることもあります。試合そのものはもちろんですが、会場の雰囲気や応援する楽しさを子どもと共有できるのも魅力の一つです。こうした日常の積み重ねが、子どもにとって運動やスポーツを身近に感じるきっかけになればいいなと思っています。



日本体育・スポーツ・健康学会
若手の会からのお知らせ



2018年8月に日本体育・スポーツ・健康学会若手の会が
発足しました！→ メーリングリスト登録フォーム:

<https://goo.gl/forms/zGMPdPa5fY3kcB5a2>

学会大会、研究会等の開催や報告者募集に関する案内、公募や助成金情報等に関する情報提供を配信予定です。皆様からも、メーリングリストで周知したい情報がありましたら、下記までご連絡ください。

taijikugakkaiwakate@gmail.com